

かしこめるものがある倒すは三と手前であるが郵便貯
 金を進めるといふ對し弊とは僅なる借入金はソレに
 与らんハソレのみ進めるのみにして金庫貯金をなどは不
 可能の事と申しとるは工物長は五十銭者亦の
 貯金出来ずる身はない若し貯金を出来ずるものは
 職工を止めざるより外に^{貯金をした}（要）といふ言ひ對し
 我々は後を飲む^{貯金をした}此れは何物がせ東略の事と
 は疑を人いふも知れし早せよかな益を物價は
 は騰貴見し止むを得ず借銀の値上げしん
 ち一要求したるに當り因行は新聞記者等と對
 し我々等々知り職工は郵便貯金をやりぬるか
 うは^{貯金をした}貯金をしぬるか金と彼等は我々とか

血と涙を絞つて積む金を何とし思はす之れを以つ
 て生活安定の用に供するは無者したる我々を
 爲し我々をいふか^{貯金をした}貯金をしぬるか
 二十五年分の身をたは不忠であるといふし決して不忠
 はないと云ふは我々を^{貯金をした}神聖なる労働者を物に
 扱いておるものいふは外々の要求に對し問
 題を俾はし^{貯金をした}俾はし我々には考念が
 なく此の考が自惚れ^{貯金をした}味方は増し^{貯金をした}身に身を
 取つて^{貯金をした}此れに實弊ある時が来るといふ我々は
 團結を以て^{貯金をした}向ふ^{貯金をした}可なりである 拍手

五十嵐
 軍縮は國家の元より人々 社会の元より目度